14	122 TO T	
ᄪ	·# 本 是	
抽	选甾亏	

											_				
				北淮	1 道	営	住	4		λ	居	申	込	<u>E</u>	
曲	現住	所									_	(ふりがな)			
申込者	本籍	地(国籍)												
者	電	話(自宅)			(会社	等)					氏 名			
		Š	りが	* 名	続柄	生生	丰月日		職	業	勤務	発の名称及	.び所在地	勤続年数	年間収入
	入居			Н	本人										
							•								
道営住宅に入居する者等						•	•								
住宅	同	居				•	•								
にえ	す	る				•	•								
八居士	親	族					•								
する						•	•					-,			
者等						•	•					-,			
-	別扶親	居養族					•								
						•								•	
	和	决				•	•					-,		•	
	住宅区分				一 角	设住宅.	又は特	定	1的住	宅	•	子育て	世帯向	け住宅	
希望	団地・地区名			団地	号标	東	号:	室	間取	IJ			階数		
の	特定目的住宅 ^{入居を} への入居希望 希望する		入居を		希	望する	5目6	的の作	主宅						
団地等			希望する	ける・しない 特殊事情											
		要													
注	太枠((入計算		た記入	してください	(1										
< _小	所行				=					3	公	堂住宅法	まに定め	る収入月	額

1 所得	=		3 公営住宅法に定める収入月額
	=		
	=		
			所得金額:
所 得 合 計			_ 控除金額:
2 控除額			収入年額:
基礎控除振替額	円×	人 =	収入月額:
同居・扶養控除額	円×	人 =	以八万 版 .
老人扶養控除額	円×	人 =	4 年度入居収入基準
特定扶養親族控除額	円×	人 =	<u> </u>
障害者控除額	円×	人 =	5 入居収入基準 適合 · 不適合
特別障害者控除額	円×	人 =	
寡婦 控除額	円×	人 =	
ひとり親控除	円×	人 =	
控除額合計			審査者名:

	カに担ばてたウの田窓供わのうと、 きょとてものにのものはてください
	次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに〇をつけてください。
12	1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。
住	2 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。
宅	3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便を受けている。
	4 住宅がないため、親族と同居することができない。
の	5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切 な居住状態にある。
凩	な居住状態にめる。 6 自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退きを要求され、適当な立退き先
1	がない。
窮	7 住宅がないために勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。
状	8 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。
1//	9 その他(具体的にお書きください。)
況	
	現在居住している住宅の種類
現	1 民間アパート・賃貸マンション 2 寮 3 借家・借間・下宿
在	4 都市再生機構・公社住宅 5 社宅 6 公営住宅 7 実家
の住	8 その他 () () () () () () () () () (
正宅	現在居住している住宅の同様が
の状	現在居住している住宅の家賃等
況	現在居住している世帯構成
	L この申込みについては、次のことを誓約します。
	1 この申込書に記載した事項は、すべて事実に相違ありません。
	2 この申請書に偽りの事項があった場合は、道営住宅の入居決定の取消しを受けても異議を
	申し立てません。 3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒
	3 この中込音に記入した性七秋沈について事実調査をする場合は、その調査を妨け、又は拒 絶しません。
	4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行
	為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員ではありま
	せん。
	令和 年 月 日
	рти + Д ц
;	北海道後志総合振興局長 様
	申込者氏名
<u>-</u> ا ر	
\ 2	世年懶グ 当落 当選・落選
	団地
	住戸

<申込書の記入例>

別記第1号様式(第6条関係)

									抽油	選番号		
				北海	道	営住	包 入	居	· 申 i	入 [
申	現住所 <i>○○郡○○町○丁目11-5後志アパート102号室</i> しりべし										しりべし	たろう
申込者	本籍地(国籍)			〇〇市〇〇町1丁目1番			1号		пд	1	% /:	<i>-</i> ₩ #7
者	電	話	(自宅)	0136-xx-	XXXX	(会社等) 090-xxxx-xxx			氏 名	\mathcal{D}	後志	
					続柄	生年月日	職業	勤剂	8先の名称及び	が所在地	勤続年数	年間収入
	入居	者	じりべし	たなう大郎	本人	S40 • 10 • 20	会社員	0	00株式	会社	22. 9	300万円
道			じりべし	. はなこ 花子	妻	S35 • 12 • 21	無職	主	婦		•	
道営住宅		_	後志	. いちろう 一 <i>郎</i>	子	H16 • 2 • 22	学生	0	<i>○高校1</i>	年生	•	
宅	同	居	後志	と 次郎	子	H18 • 12 • 31	学生	0	〇中学校 2	年生	•	
に入	す	る									•	
,居	親	族									•	
する											•	
入居する者等											•	
寸	別	居	じりべし	*************************************	子	H11 • 1 • 8	学生	0	〇大学3	年生	-	
	扶親	居養族	後志	. うめこ 梅子	母	S20 · 6 · 6	無職				•	
	机	小大		T							•	
쏲	住宅区分					般住宅又は特定	目的住宅	٠	子育では	世帯向の	け住宅	
希 望	団地・地区名			005	用地 X 7	号棟xxょ号室	間取	IJ	3LDI	r	階数	2階
の	特定目的住宅			入居を	入居を 希望する目的の住宅							
団地	. ~ 1 🗆 × 🖽			希望する	・しな	い特殊事情						
等	摘	要				-						

注 太枠の部分に記入してください

<収入計算表>

1 所得	=		3 公営住宅法に定める収入月額
	=		
	=		
			所得金額:
所 得 合	計		_ 控除金額:
2 控除額			収入年額:
基礎控除振替額	円×	人 =	収入月額:
同居・扶養控除額	円×	人 =	以 八万 説 .
老人扶養控除額	円×	人 =	4 年度入居収入基準
特定扶養親族控除額	円×	人 =	<u> </u>
障害者控除額	円×	人 =	5 入居収入基準 適合 ・ 不適合
特別障害者控除額	円×	人 =	
寡婦控除額	円×	人 =	
ひとり親控除	円×	人 =	
控 除 額 合 計			審査者名:

消しゴムで消えない筆記具で記入してください。 鉛筆や消せるボールペンは不可です。

氏名には必ず「ふりがな」をふってください。 住所はできるだけ詳しく記載してください。 電話番号は自宅・勤務先とも必ず記載してください。

この欄に記入した同居者以外の方は入居できません。 記入漏れがないよう注意してください。

申込者の扶養となっている「同居していない親族」を記入してください。

入居希望団地は、申込の後に変更できませんので、十分検討して決定して ください。

この欄は記入しないでください。

次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに〇をつけてください。 1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。 住 ② 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 | 2 | 3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便を受けている。 4 住宅がないため、親族と同居することができない。 の (5) 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切 な居住状態にある。 |困 6 自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退きを要求され、適当な立退き先 がない。 | 第 7 住宅がないために勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 図 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。 状 9 その他(具体的にお書きください。) 況 現在居住している住宅の種類 〔1〕 民間アパート・賃貸マンション 2 寮 3 借家・借間・下宿 |在| 4 都市再生機構・公社住宅 5 社宅 6 公営住宅 7 実家 の 8 その他(現在居住している住宅の間取り 住 2DK現在居住している住宅の家賃等 月60,000円 現在居住している世帯構成 夫婦、子2人の4人世帯 この申込みについては、次のことを誓約します。 1 この申込書に記載した事項は、すべて事実に相違ありません。 2 この申請書に偽りの事項があった場合は、道営住宅の入居決定の取消しを受けても異議を 申し立てません。 3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒 絶しません。 4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行 為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員ではありま せん。 令和 X 年 6 月 10 日 北海道後志総合振興局長 様 後志 太郎 申込者氏名

<処理欄>

 当落
 当選・落選

 団地

 住戸

受付印

該当する欄に〇印をつけてください。いくつつけても構いません。その他の場合は理由を詳細に記入してください。

該当する欄に〇印をつけてください。

記名してください